

| | | |
|--|---|--|
| 分科会テーマ | 【第4分科会】地域の人材養成 | |
| テーマ趣旨、進め方 | 地域づくりの担い手や、リーダーの後継者の確保は、多くの地域に共通する課題となっている。若者をはじめ、各世代の地域づくりへの参画促進や、地域で活躍するためのスキルアップ支援の方策に関する現状と課題、展開の可能性や必要な取組について意見交換を行った。 | |
| 出席者 | 佐藤 英津子 (特)里野山家 和田 祐之 (特)一円電車あけのべ 吉野 茂子 (認特)宝塚NPOセンター 石原 隆典 ぐるっと生瀬運行協議会 高橋 章子 重春・野村地区交流推進委員会／ええまち比也野里 播本 達 尾上県民交流広場 福永 君江 月が丘ふれあいのまちづくり協議会 後藤 安子 大学講師 | 日野 健太郎 (一社)野外活動協会(OAA) 中 義昭 宝塚市良元地区まちづくり協議会 柴田 義美 佐用町海内地域づくり協議会 岡野 俊昭 佐用町江川地域づくり協議会 尾上 茂 佐用町徳久地域づくり協議会 樫本 忠美 佐用町上月地域づくり協議会 坂本 享昭 豊中市市民協働部コミュニティ政策課 西中 優子 男女共同参画推進員阪神北連絡会議やまびこ |
| ファシリテーター | 中山 光子 (認特)宝塚NPOセンター | ゲストスピーカー 小川 奈津美 兵庫県立大学看護学部 |
| 意見の概要 | | |
| <p>【地域活動に関わる人を増やす・育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は地域の青年団で地域の活動(奉仕活動など)を学習し、公民館では社会教育ができていた。そのことを通じて地域活動を自然と担うことができた。しかし、現在は(そのような組織も廃止されたり)地域活動の入り口が無い状況となっている。 ・住んでいる地域に対して皆が共通意識を持つことが大切。その上で地域課題の解決を一緒にできたら良い。そこで、大切なのは「楽しくなければ聞えない」の考え方である。そのためにも、自分たちの楽しい姿を見せることで後継者が育つ。 ・都市部の地域にはリタイア後のシニアが多いが、シニア男性があまり地域活動に参加していないので、「映像」を切り口に参加してもらうことを考えている。写真好きの男性が多いうことを逆手にとって、彼らに映像作成のスキルを伝え、地域行事(祭りや運動会など)を映像にする。その映像を地域のブログやポータルサイトにアップするコミュニティビジネスを考えている。シニア男性は何か役割を作ってあげないと地域には参加しにくい。それを「映像」で実現させたい。 ・世代交代はやり方を押し付けず、新しい人の自主性を大切にすることが必要がある。 <p>例えば、これまで既存のグループが管理していた花壇の周りに「ファミリープランター」という家族で楽しめるプランターを置くことで、若い世代が地域の緑化活動に参加できる入り口を作った。ファミリープランターの管理は、その家族のペースで進めていくため長続きする。現在地域活動を担っている世代と新しい世代の生活スタイルや考え方も異なるので、その部分を考え上手くつなぐのが事務局だと考えている。</p> | | |
| まとめ | | |
| <p>【ボランティアからコミュニティビジネスへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアは無償と考える世代は少なくなり、多少でも有償としないと続かないと考える人が多くなってきている。そもそも、地域活動に関心の無い人が多く、当番だからと考えている人が多い。どうやって人を集めたら良いのか。 ・一日だけでも、年に一回だけでもいいのでと誘い、ボランティアは100人程いる。 <p>店舗が一軒もない地域なので地域の委員会で移動販売も行っている。地域を支えること、この町で暮らしていかなければならないという思いでやっている。事業として継続するため利益も出している。それを支えているのは有償ボランティアである。働き方に応じてお金又は地域の店だけで使用可能な利用券などを発行している。</p> <p>商品の価格はコンビニより少し高いが、購入していただくことが地域を守ることになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協議会で指定管理をしている。働いている若いスタッフがまちづくりを仕事としてやっていくには、彼らが安定をした収入を得られる仕組みづくりが必要だと思う。 ・高齢化率が高い地域なので、地域を支えるための産業を考えた。栗の産地であるので、「栗で村おこしをしよう」を実現した。焼き栗を1トン販売するようになった。時給500円、一日4,000円くらい支払えるようになった。 栗農家の若者が手伝うようになりつつある。20代、30代の人々が活動支援員として入ってきているが、無理をすると離れてしまう。 ・楽しくなければやらない。やりたいことをやってもらう、やれる環境づくりがリーダーとしての仕事。 | | |